

## 水道事業経営状況

## 平成 30 年度予算進捗状況及び平成 31 年度予算(案)概要

## (1) 収益的収支

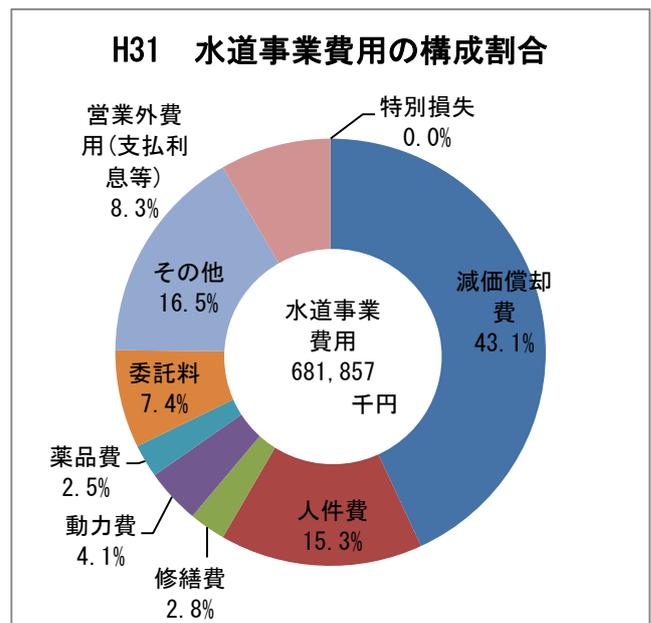
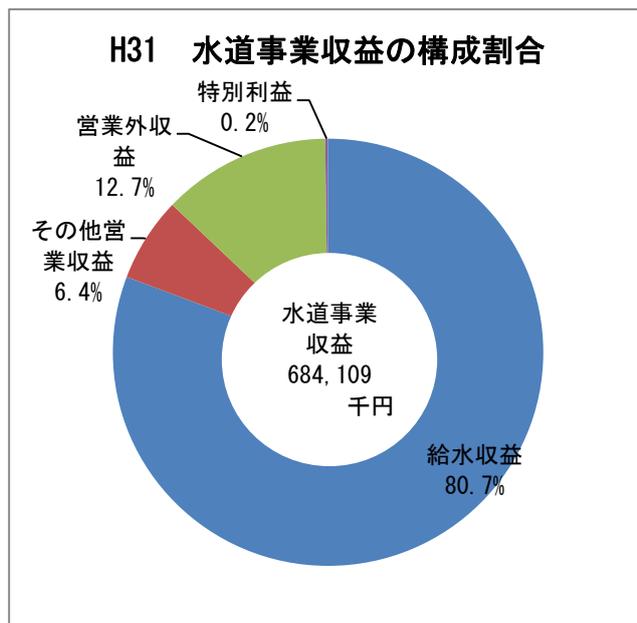
平成 30 年度については、当初予算から比較し、収益は給水収益の若干の減少が見込まれますが、長期前受金戻入、退職手当引当金戻入等の増加により 12,273 千円増となる見込みであり、費用については減価償却費、資産減耗費等の増加により 8,550 千円増となり 2,760 千円の純利益を見込んでおります。

平成 31 年度については、料金改定による給水収益の増加が見込まれ、費用では退職給付費、減価償却費、資産減耗費等の増に伴う費用の増加はありますが、2,252 千円の純利益を見込んでおります。

## 【収益的収支】

(単位：千円 [税抜])

科目	H30当初予算	H30決算見込 (補正)	H31予算(案)	H30当初予算と H31予算との差額	増減率
水道事業収益	649,096	661,369	684,109	35,013	5.39%
営業収益	548,307	548,733	596,004	47,697	8.70%
うち給水収益	506,002	505,473	552,360	46,358	9.16%
営業外収益	87,864	89,595	86,644	△ 1,220	△ 1.39%
特別利益	12,925	23,041	1,461	△ 11,464	△ 88.70%
水道事業費用	650,059	658,609	681,857	31,798	4.89%
営業費用	589,140	598,069	624,983	35,843	6.08%
営業外費用	60,918	60,539	56,873	△ 4,045	△ 6.64%
特別損失	1	1	1	0	0.00%
当年度純損益	△ 963	2,760	2,252	3,215	333.85%
前年度繰越利益剰余金	27,969	35,411	38,171	10,202	36.48%
当年度未処分利益剰余金	27,006	38,171	40,423	13,417	49.68%



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

※金額は消費税及び地方消費税を含みません。

## (2) 資本的収支

平成30年度の主な事業として、水源開発整備負担金（サンプダム負担金）が最終年度となります。老朽管更新事業については、平成26年度以降拡張事業費等ほかの事業との調整により圧縮しておりますが、前年度より若干増加させ工事を行っています。

平成31年度の主な事業として、自衛隊名寄駐屯地への配水管布設のため配水管新設実施設計業務委託を行います。また、3ヵ年計画で行っている上水道事業固定資産整理業務委託が最終年度となります。老朽管更新事業については、平成31年度は事業費を増加させ工事を進め、浄水場施設改修事業については老朽化に伴う計画的な改修を行います。

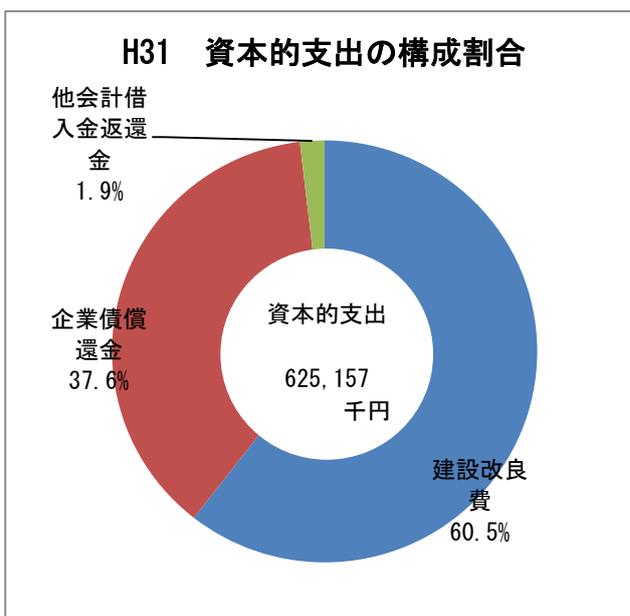
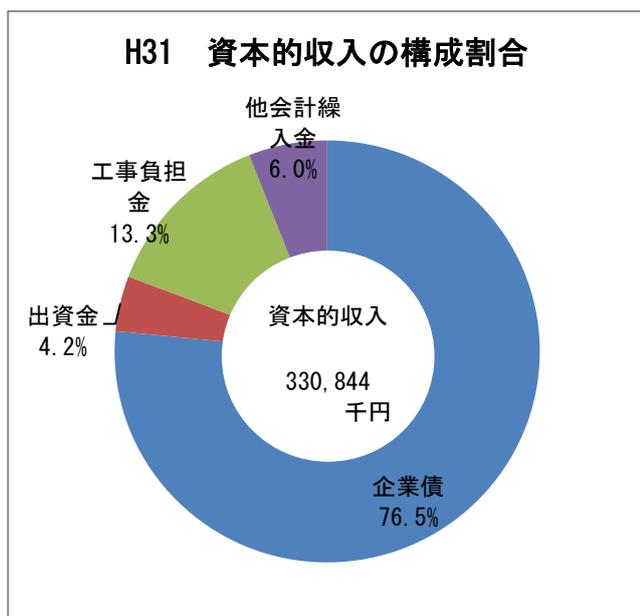
収入については、水源開発整備事業が平成30年度で終了することにより平成31年度予算では出資金が減少しております。事業費が増加した分については企業債が増加となっておりますが収支不足額は増えております。安全安心な水道サービスを提供するためにも、「施設・設備の老朽化対策」と「企業債の増加の抑制」を検討し、今後の収支計画を元に適正な受益者負担を考えていかなければなりません。

### 【資本的収支】

(単位：千円[税込])

科目	H30当初予算	H30決算見込 (補正)	H31予算(案)	H30当初予算と H31予算との差額	増減率
資本的収入	257,117	256,572	330,844	73,727	28.67%
企業債	179,600	177,700	253,200	73,600	40.98%
出資金	22,275	22,275	14,039	△ 8,236	△ 36.97%
工事負担金	41,066	41,672	43,837	2,771	6.75%
他会計繰入金	14,176	14,925	19,768	5,592	39.45%
資本的支出	542,744	539,791	625,157	82,413	15.18%
建設改良費	307,051	304,098	378,474	71,423	23.26%
企業債償還金	226,303	226,303	235,043	8,740	3.86%
他会計借入金返還金	9,390	9,390	11,640	2,250	23.96%
資本的収支(不足額)	△ 285,627	△ 283,219	△ 294,313	△ 8,686	△ 3.04%

※資本的収入が資本的支出に不足する額は過年度損益勘定留保資金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填。金額は消費税及び地方消費税を含む。



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

### (3) 平成 31 年度の主な事業

#### 【主な事業】

- ◎上水道第 2 期拡張事業《企業債》 26,730 千円
  - ・自衛隊名寄駐屯地への配水管布設のため配水管新設実施設計業務委託を予定
  
- ◎配水管網整備事業《企業債》 20,000 千円
  - ・給水区域内配水管網整備工事（φ50～φ100 L=1,000m）を予定
  
- ◎老朽管更新事業《企業債》 147,660 千円
  - ・風連東大通線老朽管更新工事（HPPE φ100 L=590m）他 5 工事を予定
  
- ◎水道量水器取替工事《工事負担金》 82,731 千円
  - ・名寄地区 1,600 台、風連地区 151 台、智恵文地区 29 台、風連日進地区 25 台の量水器（水道メータ）交換工事を予定
  - 財源は下水道事業、個別排水事業から工事台数按分による工事負担金と自己財源
  
- ◎上水道事業固定資産整理業務 7,480 千円
  - ・名寄地区配水管、給水管 GIS システム管路図作成と固定資産台帳の調査整理
  
- ◎浄水場施設改修事業《企業債（一部）》 62,090 千円
  - ・真勲別頭首工ゲートワイヤーロープ更新工事他、緑丘浄水場 3 工事、風連浄水場 1 工事、智恵文中央浄水場 1 工事、風連日進浄水場 2 工事、水源井改修 1 工事を予定
  
- ◎水質検査機器更新事業《企業債》 19,548 千円
  - ・パーリアントトラップガスクロマトグラフ質量分析計の更新を予定



# 下水道事業経営状況

資料 2 - 2

## 平成30年度予算進捗状況及び平成31年度予算(案)概要

### (1) 歳入・歳出

平成30年度における下水道事業特別会計の予算進捗状況（平成31年第1回定例会予算第2号補正）については、年度末における各費目の調整を行い、歳入・歳出ともに180,422千円減額の984,705千円を見込んでいます。

平成31年度予算については、歳入は下水道受益者負担金及び使用料収入の減少を見込んでおり、歳出では下水道事業費が増加、公債費は減少となり、歳入・歳出ともに1,150,378千円としました。

主な事業としては、基礎調査を行っていた公共下水道不明水調査については、箇所を絞った詳細調査を行います。

歳入

(単位：千円[税込])

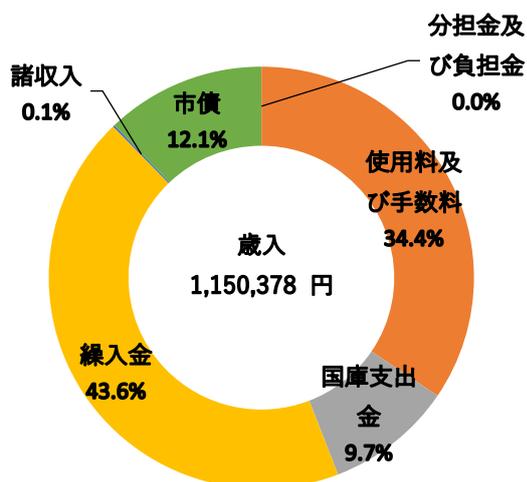
科目	H30当初予算	H30決算見込 (補正)	H31予算(案)	差額	増減率
分担金及び負担金	9,723	9,685	160	△ 9,563	△ 98.35%
使用料及び手数料	404,820	401,012	396,113	△ 8,707	△ 2.15%
国庫支出金	113,000	33,598	111,400	△ 1,600	△ 1.42%
繰入金	503,044	487,961	501,355	△ 1,689	△ 0.34%
諸収入	1,540	1,649	1,650	110	7.14%
市債	133,000	50,800	139,700	6,700	5.04%
合計	1,165,127	984,705	1,150,378	△ 14,749	△ 1.27%

歳出

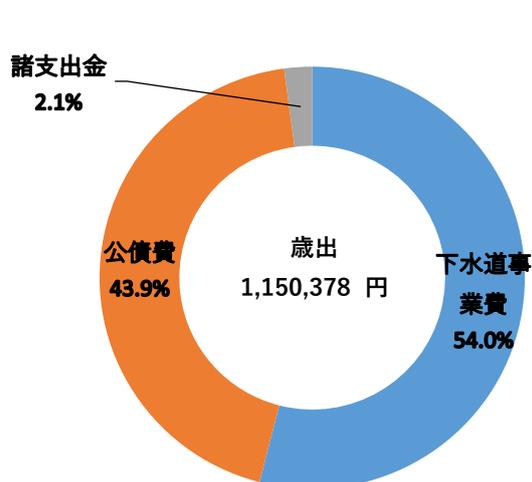
(単位：千円[税込])

科目	H30当初予算	H30決算見込 (補正)	H31予算(案)	差額	増減率
下水道事業費	616,397	441,653	621,099	4,702	0.76%
公債費	524,430	520,901	504,979	△ 19,451	△ 3.71%
諸支出金	24,300	22,151	24,300	0	0.00%
合計	1,165,127	984,705	1,150,378	△ 14,749	△ 1.27%

H31 下水道事業 歳入の構成割合



H31 下水道事業 歳出の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

## (2) 平成31年度の主な事業

### ◎マンホールカード製作

160千円

下水道への理解・関心を深めるとともに名寄市の知名度向上を図るため、マンホールカードを発行し、市内施設にて配布します。

### ◎下水道事業地方公営企業会計移行事業 《市債》

13,104千円

平成32年度の地方公営企業法全部適用に向けて、移行支援事務の委託実施と公営企業に対応した会計システムの構築を行います。

### ◎下水道建設事業 《国庫支出金・市債》

平成30年度に策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した下水処理施設下水道管渠の改築更新事業と改築更新のために必要な管路調査業務を行います。

#### 【主な工事等】

・名寄下水終末処理場外機械設備更新工事	78,600千円
・名寄下水終末処理場外電気設備更新工事	35,400千円
・名寄処理区下水道管渠更生工事	49,000千円
・公共下水道管路調査業務委託	15,000千円

#### ※下水道ストックマネジメントとは

長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改築を実施し、下水道施設全体を対象とした施設管理を最適化すること

### ◎下水道維持管理事業

止水性の高い公共柵への取替を行い、汚水管渠への雨水の侵入防止を図ります。また、汚水管渠に流入する不明水の流入箇所特定のため、基礎調査で絞り込みを行った地区を対象に詳細調査を行って、不明水対策の検討を行います。

#### 【主な工事等】

・公共柵取替工事	8,800千円
・公共下水道不明水調査	4,000千円

# 個別排水事業経営状況

資料 2 - 3

## 平成30年度予算進捗状況及び平成31年度予算(案)概要

### (1) 歳入・歳出

平成30年度における個別排水事業特別会計の予算進捗状況（平成31年第1回定例会予算第2号補正）については、年度末における各費目の調整を行い、歳入・歳出ともに3,084千円減額の87,208千円を見込んでいます。

平成31年度予算については、歳入では繰入金・市債の増加を見込んでおり、歳出では個別排水事業費・公債費が増加となり、歳入・歳出ともに94,159千円としました。

歳入

(単位：円[税込])

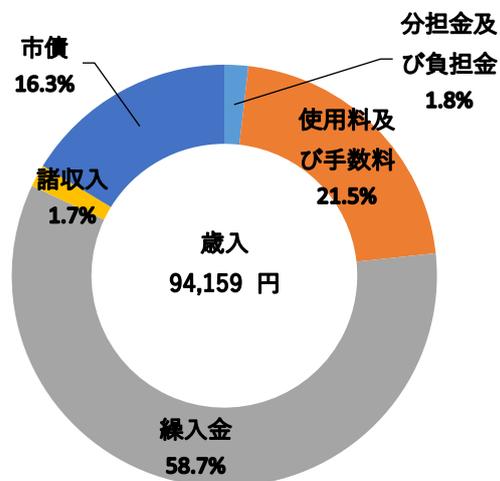
科目	H30当初予算	H30決算見込 (補正)	H31予算(案)	差額	増減率
分担金及び負担金	1,581	1,577	1,750	169	10.69%
使用料及び手数料	18,834	18,743	18,817	△ 17	△ 0.09%
繰入金	54,176	51,188	56,391	2,215	4.09%
諸収入	1,501	1,500	1,501	0	0.00%
市債	14,200	14,200	15,700	1,500	10.56%
合計	90,292	87,208	94,159	3,867	4.28%

歳出

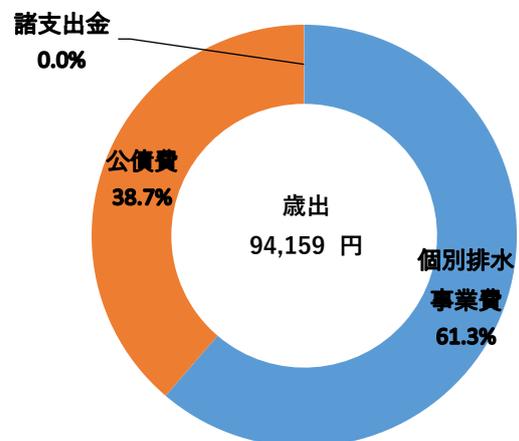
(単位：円[税込])

科目	H30当初予算	H30決算見込 (補正)	H31予算(案)	差額	増減率
個別排水事業費	56,305	53,463	58,958	2,653	4.71%
公債費	33,887	33,707	35,101	1,214	3.58%
諸支出金	100	38	100	0	0.00%
合計	90,292	87,208	94,159	3,867	4.28%

H30 個別排水事業 歳入の構成割合



H30 個別排水 歳出の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。